

令和5年度 進路体験記 先輩からのメッセージ



九州共立大学

総合ビジネス科 池田 叶多

野球部所属 高須中学校出身

私は、中学生の頃から体育教師として働きたいという夢がありました。そのために、部活動と勉学の両立が必要だと考え、九州共立大学を選択しました。九州共立大学は特にスポーツに力を入れており、体育の免許を取得できることや、施設が充実し学びやすい環境だと感じ、九州共立大学を目指しました。九州共立大学を目指すにあたり準備してきたことは、部活動です。私は野球部に所属しており、副キャプテンとして日々努力を続けてきました。また、学校行事にも積極的に参加してきました。高校3年時に行われた体育大会ではブロック長を務めました。また、資格取得に向け、様々な検定に挑戦してきました。大学の受験方法は、学校推薦型選抜一般推薦Ⅰ期で国語総合の筆記試験と面接での受験でした。筆記試験の対策として苦手だった現代文のテキストを中心に勉強し、面接では放課後に先生方や友達に手伝ってもらい対策をしました。このおかげで合格することができました。これは、決して自分一人の力ではなく指導してくださった先生方や励ましてくれた友達、支えてくれた家族のおかげです。常に前を向き、自分の夢である体育教師になれるようこれからも頑張ります。



下関市立大学

総合ビジネス科 迫田 美愛姫

中間東中学校出身

私は、下関市立大学に合格内定を頂きました。私は、折尾高校で学んできた専門的な知識をもっと幅広く学びたいと思い四年制大学への進学を志望していました。1年生の頃から国公立大学に興味がありましたが、自分には無理だと思い最初は諦めていました。しかし、3年生の夏休みに親に挑戦してみたらと言われてもらい、全国推薦で下関市立大学を受験しました。試験内容は小論文で、長文理解と図表理解の2種類あり小論文の結果で合否が決まります。私は進学先をぎりぎりですら決めため、受験の約2カ月前から本格的に対策を始めました。最初はあまり書くことができず時間もかかりました。しかし、個別に指導してくれた先生達のおかげで日々上達することができました。新聞やニュースを見て知識を増やす努力もしました。受験当日は内容が難しくて焦ったりもしましたが最後までベストを尽くすことができました。私は作文などを書くことは得意な方ではなかったのですが、小論文は書いた分だけ力が付きます。努力した結果が合格に繋がると思うのでこれから頑張ってください。



三井ハイテック

総合ビジネス科 橋 幸希

水巻中学校出身

私は、進路について、入学時から就職はしたいがどのような企業に就職すればいいかと悩んでいました。そんな中で参加した「ゆめみらいワーク」で三井ハイテックの「世界の人々に役立つ製品をつくる」という企業理念に感銘を受け、志望しました。

採用試験の内容は、個人面接、筆記試験、工作試験がありました。面接の練習時には緊張により言いたいことがまとまらなかったり、言い間違いをするということが多くありましたが、練習を重ねることで、落ち着いて面接に臨むことができるようになりました。また、担任の先生だけではなく、様々な先生に面接の練習をお願いしてアドバイスをもらい、活かしていくことが面接の上達への近道となるため、積極的に受けていくことが大切であると思いました。筆記試験では、I C A Nテストに内容が近く、日頃のI C A Nテストの勉強にしっかりと取り組んでいれば、解きやすい問題であると感じました。

最後に、現在進路のことで迷っている人、もう進路実現のために進んでいる人、どちらも、不安になることは多くあるかもしれませんが、折尾高校の利用できる環境を最大限利用して、進路実現のために頑張ってください。心から皆さんを応援しています。



株式会社ブリヂストン

総合ビジネス科 村岡 凌佑

野球部所属 岡垣東中学校出身

私は、幼い頃に車体を支えるタイヤがどのような構造をしているのかと強く興味を持ちました。両親に勧められたこともあり、中学2年生の頃からブリヂストンに就職することを目標にしてきました。そして高校2年生の時に工場見学に参加し、作業や検査の工程に魅力を感じ、志望しました。

採用試験は、集団面接・S P I・適性検査・体力試験がありました。ブリヂストンは面接をととても重視している企業なので特に面接練習を頑張ってきました。最初は緊張していましたが質問に答えていくうちに気持ちがほぐれ詰まることなくスムーズに受け答えができました。体力試験では運動部でもあるため最後まで全力で試験に臨むことができました。面接練習の段階では何もかもダメで辛い時もありましたが、自分の夢を諦めない気持ちと先生方の丁寧なアドバイスのおかげで合格という良い報告ができたと思います。最後に、採用試験はこれからの自分の人生を左右する大事な試験です。合格するまで決して気を抜かず、全力を出してください。応援しています。



福岡大学

総合ビジネス科 増田愛海

高須中学校出身

私は、将来は税理士になりたいと思い折尾高校に入学しました。入学後、簿記の面白さを知り、税理士になりたいという思いがより強くなりました。専門学校に進学しようと考えた時期もありましたが、周りの方々からの勧めもあって、大学4年間で幅広く深く学びたいと思うようになりました。また、出願に必要な資格である日本商工会議所主催簿記2級を取得していたため、総合型選抜で受験しました。一次は書類審査、二次は面接と小論文でした。小論文は書いたことがなかったので、積極的に課外に参加し、先生に何度も添削していただきました。面接は、大学について詳しく調べたり、自分の将来についてよく考えたりして、先生方に指導していただきながら練習に取り組みました。うまくいかない部分もありましたが、無事に合格することができました。進学後は、より深く会計について学び、将来の目標に近づきたいと思います。



株式会社ガーランドシステム

ビジネス情報科 折田礼仁

情報処理部所属 中間中学校出身

私は、3年生の時に就職するとなった際、どの会社に入社しようか悩んでいました。そこで求人票を見て、株式会社ガーランドシステムというシステム設計やWeb制作の会社を知りました。元々趣味でプログラミングをしているので気になっていましたが、会社のホームページや職場見学を通して、アットホームな職場に魅力を感じ、入社を決意しました。

試験は筆記試験と面接試験の2つがありました。私は特に面接試験の対策に集中しました。面接練習の最初のうちは、質問にうまく答えられなかったり、強い緊張で何もしゃべれなかったりしましたが、回数を重ねていくうちに質問にしっかり答えられるようになりました。それでも、本番でも緊張は消えませんでしたし、噛むこともありましたが、面接練習に協力してくださった先生方のおかげで、無事合格することができました。面接はすごく緊張しますが、落ち着いて、自信をもって臨みましょう。

また、筆記試験は、一般常識と数学の応用問題が出題されました。日ごろからニュースを見たり関心を持ったりすることは、一般常識問題の解答はもちろん、面接にも役に立つのでしっかり目を通すようにしましょう。

最後に、進路実現までに悩みや不安が多くあると思いますが、先生や友人、家族など色々な人が助けてくれます。進路実現に向けて頑張ってください。



株式会社ゼンリン

ビジネス情報科 永田陽向

浅川中学校出身

希望する就職先が決まらず悩んでいるとき、進路の先生が私に株式会社ゼンリンを勧めてくださいました。私はビジネス情報科でパソコンに関することを多く勉強してきました。職場見学の際にお話を伺いアットホームな雰囲気を感じたこと、また、これまで勉強してきた知識を活かしていけそうな職場だと感じ、ゼンリンに就職したいという気持ちが強まりました。試験内容は、作文、SPI、個人面接の3つでした。作文は過去のテーマに加え類似したテーマで対策をすることをお勧めします。過去の受験報告書を見ること、数学と国語の勉強に力をいれることも大事です。面接ノートはこまめに作成し、添削してもらい早い段階から面接練習しておけば、自信をもって臨めると思います。面接でミスをして焦らず、深呼吸して言い直せば大丈夫です。最後に、1、2年生の時に良い成績をとっておくことで進路を決める際の選択肢が広がったり、自分が進みたい進路を実現したりすることができます。未来の自分のために今より少しだけ頑張ってみてください。



福岡工業大学

ビジネス情報科 田中 大翔

芦屋中学校出身

私は、福岡工業大学社会環境学部に進学しました。私は志望校を決めるのが遅く、受験の準備がみんなと比べて遅れたので、焦りがありましたが、先生方が支えてくれました。私の受験方法は専門・総合型選抜（併願制）です。指定校推薦が叶わず、志望校をあきらめかけましたが担任の先生に併願制のことを教えていただきチャレンジしました。入試科目は小論文と面接がありました。私は時事問題と小論文が苦手だったので、時間をかけ取り組みました。小論文対策としては過去5年分の問題に取り組み、先生に添削していただき、文章の構成力を身につけました。その中から時事問題のキーワードを調べてまとめたり、日頃からニュースをみて知識を身につけました。面接は担任の先生だけでなく、多くの先生方に指導して頂いたおかげで、自信を持つことができました。大学では折尾高校で学んだことを活かし、色々なことに挑戦していきたいと思っています。



八幡医師会看護専門学校

生活デザイン科 石倉結羽
バドミントン部所属 芦屋中学校出身

私は八幡医師会看護専門学校に合格内定をいただきました。小学生の時から看護師を目指しており、オープンキャンパスに行った際に、学費が安いことと、実習先が病院だけではなく、保育所やグループホームなどに行くことを知り、受験を決めました。指定校推薦の受験には評定平均が 3.5 以上という条件がありましたが、私はギリギリの評定ではなく、5.0 を目指して学習に取り組みました。

入試内容には小論文と面接がありました。小論文を書くことに不安があったため、早い段階から参考書を読みながら 1 日に 1 文章書くことを実践しました。これにより、文章力がつくと同時に自信もつきました。面接に向けては、練習を繰り返し行いました。八幡医師会看護専門学校は、1 つ答えるとその答えについて深く聞かれる傾向があるため、私は、事前に具体的な答えを考えておき、少しでも聞かれる質問を少なくしようと取り組みました。

今回の受験の合格は、日々の努力もありますが、先生方や家族・友達の応援があったからだと思います。身近な人からの応援はとても自信に繋がります。みなさんも応援されることをパワーにし、頑張ってください。応援しています。



西南女学院大学短期大学部

生活デザイン科 八木陽苗
合唱部所属 浅川中学校出身

私は西南女学院大学短期大学部の保育科の合格内定をいただきました。

11 月に第一志望の大学を公募推薦で受験しましたが、不合格となりました。すぐに気持ちを切り替え、第二志望である西南女学院大学短期大学部の保育科の公募推薦試験を受験しました。第一志望の大学の結果を受けてから試験まではとても短かったですが、受験先を決定する際に、先生から「第一志望の学校が不合格であったときのことを考えて、第二志望の学校についても下調べをしておいたほうがいい」とのアドバイスを頂いたので、学校のパンフレットを取り寄せたり、過去問を調べたりしていました。西南女学院大学短期大学部には、私の目標の一つである認定絵本土の講座があるため、絵本に関する知識や技術を高める必要があると思います。保育技術検定の言語分野の 1 級の取得にも励みました。万全の準備ができていたおかげで、面接の際にはその講座を受講したいという思いを面接官に自信をもって話すことができました。皆さんも大変なこともあると思いますが、頑張ってください。応援しています。



公務員〈海上自衛隊〉

生活デザイン科 山崎綾美

高須中学校出身

私は、以前から地域社会の平和維持に貢献でき、安定した生活ができる仕事に就きたいと思っていました。また、父が海上自衛官だったこともきっかけとなり、高校2年生の夏頃から公務員を目指そうと思うようになりました。その中で、海上自衛隊の方々から話を聞き、国の防衛や災害派遣、国際貢献など、日本や世界の平和維持に貢献できるというやりがいがある仕事であることを改めて知り、海上自衛隊員を目指すことを決めました。海上自衛隊に合格するためにまず、筆記試験対策として過去問題集を何度も解き直しながら勉強しました。また面接に向けて、自衛隊の広報官の方に学校に来て頂き、繰り返し面接練習をすることができたため、自信を持って面接に挑むことができました。合格後も、規則正しい生活を心掛け、体力をつけるために運動にも力を入れています。また、学校生活でも、遅刻・欠席をしないこと、相手の目を見てしっかり挨拶することなど、これまで折尾高校で学んだことを活かして、理想の自衛官になることを意識した生活を心掛けています。皆さんも不安なこともあると思いますが、諦めずに最後まで自分を信じて頑張ってください。



文化服装学院

生活デザイン科 青野妃万里

被服部所属 則松中学校出身

私は東京にある文化服装学院というファッション専門学校に合格することができました。

私は生活デザイン科のファッションコースに在籍しています。授業を通して服作りの楽しさや奥深さを学び、段々と服作りの仕事に就きたいと考えるようになりました。最初は就職も悩みましたが、求人が少ないことや給料の低さなどから進学を選びました。

服作りは大きく分けてデザイン、パターン、縫製の3つの工程で成り立っています。現在、生産性を上げるために機械などが使われることも多いですが、私はその工程をすべて一人でできる程の実力を身に付けたいと思いました。そこで、日本服飾の始まりともいえる文化服装学院で学ぶことが一番だと思い、進学を強く考えるようになりました。しかし、なかなか東京に行きたいと言い出せず、進路が決まらないまま3年生になってしまいました。ある時、姉が話を聞いてくれたことがきっかけで、担任の先生や両親に東京へ行きたいという思いを伝えることができました。そこから受験に向けて準備を進め、無事入学内定をいただくことができました。進路に悩んでいる人がいれば、ぜひ周囲の大人に相談することをおすすめします。頑張ってください。



九州女子大学

生活デザイン科 宝田来羅

食物部所属 高須中学校出身

私は管理栄養士という目標のために、九州女子大学への受験を決意しました。きっかけは、私が小学校高学年の時に共働きの両親に代わって夕食を作り始めたことです。誰かの為に献立を考えたり、人を笑顔にする料理を作ったりしたいという気持ちになりました。そのため、実習環境が整っており管理栄養士の国家資格取得への支援が手厚い九州女子大学にとっても魅力を感じました。受験に際し、私が特に力を入れて取り組んだことは面接練習です。過去の先輩方の記録を参考にしたり、受験する学科に関連する質問を自分なりに考えてみたりなど工夫をしました。初めの面接練習では、緊張で言葉が詰まったり、声が小さくなったりとスムーズに話すことができていませんでした。しかし、先生方がアドバイスと良かった点を伝えてくださったおかげで、本番に向けて前向きに練習に取り組むことができました。合格に至るまで、先生方からの指導のおかげで苦手だった面接や自信のなかった作文で、自分の成長を感じ、本番でも落ち着いて挑むことができました。親身になって指導していただき本当にありがとうございました。



遠賀信用金庫

生活デザイン科 弓場みのり

遠賀中学校出身

私は、遠賀信用金庫に内定をいただきました。私は生活デザイン科として家庭科に関する勉強をしてきたので簿記などが必要となってくる金融機関などの就職先は全く視野に入れていませんでした。しかし、周囲の人に向いていると勧められたことがきっかけで少しずつ興味を持ち始め、自分の強みである丁寧さと学校で身につけたパソコン技術が活かせるのではないかと思います。就職することにしました。

試験内容は適性検査と面接だったため、進路室から本を借りて勉強したり、何度も面接の練習をしたりして準備を進めました。内定を頂いてからは、入庫までに日商 PC 検定に合格するよう課題が提示されたため、商業の先生に勉強のコツを教えていただきながら検定取得に励みました。

入庫するにあたって、お客様との関わり方やお金の管理などに不安はありますが、高校生活で身につけた礼儀やビジネスマナーを活かして、いち早く一人前のテラーになれるよう努力していきたいと思います。

最後に、進路に対して不安を抱えている人もいるかもしれませんが、友達や先生などたくさんの方が支えとなってくれます。自分の希望する進路が実現できるように頑張ってください。応援しています。